Ubuntu 8.04 LTS Hardy Heron

日医標準レセプトソフト

インストール手順書

【日レセ Ver.4.5 用】

平成23年3月28日

第七版

目次

<u>1はじめに</u>	4
<u>1.1 インストールCDの準備</u>	4
<u>1.2 対象としている境境</u> 1 3 凡 <i>例</i>	4
<u>וואס אראס אראס אראס אראס אראס אראס אראס </u>	+
2.1 hardyインストーラの起動	
<u>2.2 ラテン文字モード切替えキーの選択</u>	7
<u>2.3 ホスト名の設定</u>	8
<u>2.4 ハードディスクのパーティショニング</u>	8
<u>2.5 ユーサの設定</u>	.10
2.0 ハックーンマネーシャの設定 2.1 ハックーンマネーシャの設定 2.1 インストールオるソフトウェアの選択	.12
2.7 + 2.7 + 2.7 + 2.7 + 2.7 + 0.5 + 0.	13
3日医標準レセプトソフトのインストール	.14
<u>3.1 コマンドの記述ルール</u>	.14
<u>3.2 ログイン</u>	. 15
<u>3.3 sudoの実行</u>	. 15
$3.4 \text{ Keyr ing} \mathcal{O}_{1} = 10$. 15
<u>3.5 apt-lineの」 </u> 2.6 Gnomoデスクトップ理接のインストール	. 10
<u>3.0 GIOINEアスクトック環境のインストール</u> 37 ガラフィカルロガイン	.10
<u>38 ターミナルエミュレータの</u> 記動	18
<u>3.9 sudoの実行</u>	. 19
<u>3.10 PostgreSQLのセットアップ</u>	.19
<u>3.11 Debian版日レセからのDBの移行</u>	. 19
<u>3.12 日レセのインストール</u>	. 20
<u>3.13 ormasterパスワードの設定</u>	. 20
4 ロレビのクノイ アノト 環境の $4 1 nanda-oliont のインストール$. 21
4.1 panda chemos $2 \times 1^{\circ}$ 1°	21
<u>4.3</u> 日本語入力の設定	21
<u>4.3.1 頻度学習辞書の作成</u>	23
<u>4.4 インプットメソッドの設定</u>	. 24
<u>4.5 xmodmapの設定.</u>	. 24
<u>4.6 devilspieの設定</u>	. 25
<u>4./ 日剿起剿の設定</u>	. 25
<u>4.0 ハイルの位値の多定</u> 4.9 亩ログイン	. 20
<u></u>	. 20
<u>5.1</u> 日レセ動作確認	.30
<u>6 主従構成での運用の設定</u>	. 33
<u>6.1 日レセの主従構成での運用について</u>	. 33
<u>6.2 催認事項</u>	. 33
<u>6.3 IPアドレスの固定</u>	. 34
<u>6.4 化サーバのPOSTBRESULの設</u> 6.4 1 従サーバの強認	. 3/
<u>0.4.1位リーハの確認</u> 6.4.2主サーバの日レヤの設定	. 30 30
<u>643</u> 台運用の確認	.39
6.5 主従データベースの同期の取り方	.40
7 印刷の設定	. 41
<u>7.1 確認事項</u>	. 41
<u>7.2 ブリンタの追加</u>	. 41
<u>/.3 UCRフォントの設定</u>	. 46

<u>7.4 MaxJobsの設定</u>	. 46
<u>7.5 cupsの再起動</u>	. 46
<u>7.6 印字テスト</u>	. 47
<u>8運用上必要な可能性のある設定</u>	. 48
<u>8.1 Firefox Webブラウザのインストール</u>	.48
<u>9日レセ関連パッケージ</u>	. 49
<u>9.1 レセプト電算対応</u>	. 49
<u>9.2 レセプト電算ビューワ</u>	. 49
<u>9.3 dbs連携</u>	. 49
<u>9.4 認証局構築ツール</u>	. 49
<u>9.5 GTKテーマの設定</u>	. 49
10 更新履歴	. 50
10.1 2009/10/19 第2版	. 50
<u>10.2 2009/10/28 第3版</u>	. 50
<u>10.3 2009/11/02 第4版</u>	. 50
<u>10.4 2009/12/02 第5版</u>	. 50
<u>10.5 2010/03/23 第6版</u>	. 50
<u>10.6 2011/03/11 第7版</u>	. 51

1 はじめに

1.1 インストール CD の準備

Ubuntu 8.04 LTS Server 版の 32bit version を取得してください。 日医標準レセプト ソフトでは AMD64 のマシンでも 32bit version で動作させる必要があります。

ダウンロードは以下のリンク先にある CD イメージのリストのうち いずれか 1 つを選択 してダウンロードしてください。(内容は公式サイトより取得したものと同一です)

http://www.orca.med.or.jp/receipt/tec/hardy/#download

1.2 対象としている環境

このドキュメントは一つのコンピュータに日レセのサーバとクライアント両方を入れた 環境をセットアップすることを対象としています。

1.3 几例

このドキュメントで使われている表記方法です。

コマンド行

次のような枠で表示されているのがコマンドです。コマンドの記法などは <u>3.1 コ</u> <u>マンドの記述ルール</u>を確認してください。

aptitude install xxx-xxxx (rootユーザで実行)
\$ aptitude search xxxx-xxxxx (通常のユーザで実行)

設定ファイル

次のような枠で表示されているのが設定ファイルです。また灰色で強調された箇所 が編集を行う箇所です。

```
(if
(is (aaa) "aa")
(aaa)
)
```

• 画面の表示

次のような太い枠で表示されているのが画面の表示です。

x packages upgraded, x newly installed, x to remove and x not upgraded. Need to get xxMB of archives. After unpacking xxMB will be used. Do you want to continue? [Y/n/?]

セットアップ中プログラムからの質問にはセットアップドキュメントに特に明記していない場合はそのままの値(デフォルト値)で答えてください。

2 Ubuntu 8.04 LTS Hardy Heronのセットアップ

2.1 hardy インストーラの起動

用意したインストール CDを挿入して CD-ROM から起動できるように BIOS を設定し、コン ピュータを起動してください。

インストーラで使用する言語を選択する画面になりますので、矢印キーで「日本語」を 選びEnter キーを押します。

	Language	
Arabic	Hindi	Português
Беларуская	Hrvatski	Română
Български	Magyarul	Русский
Bengali	Bahasa Indonesia	Sámegillii
Bosanski	Italiano	Slovenčina
Català	日本語	Slovenščina
Čeština	ქართული	Shqip
Dansk	Khmer	Svenska
Deutsch	한국어	Tamil
Dzongkha	Kurdî	Thai
Ελληνικά	Lietuviškai	Tagalog
English	Latviski	Türkçe
Esperanto	Македонски	Українська
Español	Malayalam	Tiếng Việt
Eesti	Norsk bokmål	Wolof
Euskanaz	Nepali	中文(简体)
Suomi	Nederlands	中文(繁體)
Français	Norsk nynorsk	
Galego	Punjabi (Gurmukhi)	
Gujarati	Polski	
Hebrew	Português do Brasil	

メニューが表示されたら「Install Ubuntu Server」を選択し、インストーラが起動されるまで数分待ちます。



2.2 ラテン文字モード切替えキーの選択

ラテン文字モードと非ラテン文字モードを切替えるキーを選択します。デフォルトのま ま「Alt+Shift」を選択します。

You will need layout and the	a way to toggle the keybo standard Latin layout.	ard between the national Several options are available.
The most ergon keys (in the l normal Caps to combination; n Alt+Shift (or meaning in Eme	nomic choices seem to be t ater case use the combina nggle). Another popular c notice however that in thi Control+Shift if you choo ncs and other programs usi	he right Alt and the Caps Lock tion Shift+Caps Lock for hoice is the Alt+Shift s case the combination se it) will lose its usual ng it.
Notice the lis	ted keys are not present	on all keyboards.
Method for tog	gling between national an	d Latin mode:
	Caps Lock Right Alt Right Control Right Shift Right Logo key Menu key Altushift	
(厚る)		

2.3 ホスト名の設定

このコンピュータのホスト名を入力してください。DHCP サーバの設定によって自動的 に設定されていることもありますが、ネットワーク内の他のマシンと重複しない名前に設 定し直してください。本ドキュメントでは <u>ubuntu</u>とします。



2.4 ハードディスクのパーティショニング

「ガイド ディスク全体を使う」を選択します。



接続されているハードディスク一覧が出ます。Hardyをセットアップするハードディスクを選択してください。



標準では「いいえ」の方にカーソルがあるため「はい」に変更します。パーティションの情報を書き込みパーティションを初期化します。この処理にはディスク容量によって 前後しますが数分から数十分かかります。

	100	ディスク	のパー	ティ	5 1 3	ング	-		
続けると、以下 でさらに変更を	下に挙げたう	変更は デ とができ	イスクます。	に書き	き込ま	ins'	す。 さ	あるいは、	手動
著告: これに パーティション	は、パーティンのすべて	イション のデータ	を初期を破壊	化する	まのと	[3様]	E. 1	削除する。	とした
以下のデバイン SCSI1 (0,0	(のパーチ ,0) (sda)	イション	テーブ	ルがろ	変更さ	in#	す:		
以下のパーチ- SCSI1 (0,0 SCSI1 (0,0	(ションは) ,0) (sda) ,0) (sda)	制期化さ のパーう のパーう	れます	: aン 1 aン 5	をを	ext3 スワッ	ドナイ	ine Par	
ディスクに変更	「を書き込。	みますか	7						
〈戻る〉						-		chuź	>

2.5 ユーザの設定

管理者ユーザの作成を行います。ユーザの名前をアルファベットで入力してください。 本ドキュメントでは or user というユーザを作成します。



実際のユーザアカウント名を入力してください。標準では先程入力したフルネームの名 前の部分が入力されています。

はならず、数字	連択です。ユーサ名の5	:頭は小文字アルファベットでな の任意の組合わせで構成されま
なたのアカウン	トのユーザ名:	
user	000820008200082000820	

パスワードを入力してください。



確認のためもう一度先程と同じパスワードを入力してください。



2.6 パッケージマネージャの設定

プロキシサーバを利用する必要がある場合はプロキシサーバの情報を入力してください。 通常は空白のまま進みます。

	[!] 外の世界にアクセスする シ情報をここに入力しま	パッケージマネージャの設定 のに HTTP プロキシを使う必要が す。そうでかいから空のままに)	があるなら、プロキ 、アおきます
, H	プロキシ情報は、"http: 定してください。 HTTP プロキシの情報(な)。()(a、なり工のよるに、 //[[user][:pass]@]host[:port] なければ空):	/" の標準形式で指
-			<続ける>

2.7 インストールするソフトウェアの選択

チェックがどこにも入っていない事を確認して進みます。ソフトウェアのインストール やブートローダのセットアップが実行されます。この処理にはマシンのスペックによりま すが数分から数十分かかります。

	[!] Software selection	
the moment, on stem to your new llowing predefin	y the core of the system is installed. To tun ds, you can choose to install one or more of ed collections of software.	e the the
oose software to	install:	
	DNS server [] LAMP server [] Mall server [] OpenSSH server [] PostgreSQL database [] Print server [] Samba File server	
(厚る)	(統)	るゝ

12

2.8 コンピュータの再起動

「続ける」を選択して再起動を行います。以上で hardy のインストールが完了しました。



3 日医標準レセプトソフトのインストール

Hardyのセットアップ後の再起動を行うと黒い画面の中に次のようなログイン画面が表示されます。以後この画面にコマンドを入力して日レセのインストール作業を進めます。

...前略... Ubuntu 8.04.4 ubuntu tty1 ubuntu login:

3.1 コマンドの記述ルール

コマンド枠にくくられた中のコマンドを入力する際には\$や#は入力せずに太字の部分を 入力し、Enter キーを押してください。

\$ aptitude install hello

パスワードなど入力するが画面に表示されない文字列は波線になっています。

Password: password

またコマンド枠の#と\$は次の状態を略したものです。

oruser@ubuntu:~/\$	
ubuntu:~#	

コマンドの最後に \(バックスラッシュ)が付いている行は¥マークのキーを押して バックスラッシュを入力した後に Enter キーを押してください。複数行にまたがってコマ ンドが入力できます。

\$ echo test \
test

これは次のコマンドと同じ意味です。

\$ echo test test

3.2 ログイン

2.5 ユーザの設定で設定したユーザとパスワードでログインします。パスワードは画面 には表示されませんが入力されています。本ドキュメントでは or user のパスワードを password としていますが実際に設定されたパスワードに読み替えてください。

Ubuntu 8.04.4 ubuntu tty1 ubuntu login: oruser Password: password

3.3 sudo の実行

sudo コマンドを実行し root になります。この時求められるパスワードにはログイン時 に使用したものと同じパスワードを入力してください。

\$ sudo -i
[sudo] password for oruser: password
#

3.4 Keyringの追加

日レセの正しいパッケージがダウンロードされてるかどうかを検証するために鍵をパッ ケージ配布サイトからダウンロードします。

wget -q http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu/archive.key

apt-key コマンドで追加します。OK と表示されましたら成功です。

apt-key add archive.key
OK

3.5 apt-lineの追加

日レセのパッケージを取得するための apt-line を追加します。apt-line の設定ファイル (jma-receipt-hardy45.list) を 公 式 ウ ェ ブ サ イ ト か ら 取 得 し 、 /etc/apt/sources.list.d以下に配置します。

wget -q -O \
/etc/apt/sources.list.d/jma-receipt-hardy45.list \
http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu/jma-receipt-hardy45.list

※ jma-receipt-hardy45. list では hardy 版日レセ Ver.4.5 用の apt-line を設定してい ます。将来日レセのバージョンアップを行う際には、そのバージョンに対応した aptline 設定ファイルを取得、設定する必要があります。

次のコマンドでパッケージデータベースを更新します。

aptitude update

次のコマンドでパッケージを更新します。

aptitude dist-upgrade

最後に次のような表示が出た場合は間違いがありますので、<u>3.4 Keyringの追加</u>の項目 を見直してください。

W: GPG error: http://ftp.orca.med.or.jp hardy4.4 Release: The following signatures couldn't be verified because the public key is not available: NO_PUBKEY 137E0B9A69C4E4D0

W: GPG error: http://ftp.orca.med.or.jp hardy-common Release: The following signatures couldn't be verified because the public key is not available: NO_PUBKEY 137E0B9A69C4E4D0

W: You may want to run apt-get update to correct these problems

3.6 Gnome デスクトップ環境のインストール

Gnome デスクトップ環境のインストールを行います。

```
# aptitude install -y gnome-desktop-environment \
language-support-ja \
language-pack-gnome-ja
```

インストール完了後コンピュータを一度再起動します。

reboot

3.7 グラフィカルログイン

再起動するとログイン画面が表示されますので、3.2 ログインと同じように2.5 ユーザの設定で設定したユーザ名とパスワードでログインしてください。



3.8 ターミナルエミュレータの起動

左上のメニューから「アプリケーション」→「アクセサリ」→「端末」を選択し、ター ミナルエミュレータを起動してください。



以後のコマンドはターミナルエミュレータに入力してください。



18

3.9 sudoの実行

sudo コマンドを実行し root になります。この時求められるパスワードには 2.5 ユーザ の設定で設定したパスワードを入力してください。

```
$ sudo -i
[sudo] password for oruser:
#
```

3.10 PostgreSQL のセットアップ

PostgreSQL のインストールを行います。

aptitude install -y postgresql-8.3

インストール後すぐの状態ではクラスタのロケールがUTF-8になっているため日レセに 使用できません。クラスタを日レセ用に作り直します。

pg_dropcluster --stop 8.3 main

pg_createcluster --start --locale C -e EUC-JP 8.3 main

Creating new cluster (configuration: /etc/postgresql/8.3/main, data: /var/lib/postgresql/8.3/main)...

Moving configuration file /var/lib/postgresql/8.3/main/postgresql.conf to /etc/postgresql/8.3/main...

Moving configuration file /var/lib/postgresql/8.3/main/pg_hba.conf to /etc/postgresql/8.3/main...

Moving configuration file /var/lib/postgresql/8.3/main/pg_ident.conf to /etc/postgresql/8.3/main...

Configuring postgresql.conf to use port 5432...

3.11 Debian 版日レセからの DB の移行

今迄運用されていた Debian 版レセのデータベースを利用される場合は次のようにして データベースのダンプファイルを新しい PostgreSQL にリストアします。この段階でデー タベースをリストアする事で日レセセットアップ時に日レセのデータベースの構造変換が 自動的にかかります。 システムに orca ユーザを追加します。この時連絡先等の入力を求められますが、空白のまま進んで問題ありません。

adduser orca --disabled-password

PostgreSQL に or ca ユーザを追加します。

sudo -u postgres createuser --createdb \

--no-superuser --no-createrole orca

データベースを作成後ダンプファイルをリストアします。本ドキュメントでは Debian 版日レセのダンプファイルを <u>debian.dump</u>としています。

sudo -u orca createdb orca
CREATE DATABASE
sudo -u orca psql orca < debian.dump</pre>

3.12 日レセのインストール

日レセをインストールします。多くのソフトウェアがインストールされるため時間がかかります。

aptitude install -y jma-receipt

3.13 ormaster パスワードの設定

日レセのセットアップ直後のデータベースに登録されている ormaster ユーザにパス ワードを設定します。本ドキュメントでは ormaster のパスワードを ormaster 123 として 以下のように設定しますが、セキュリティ上の観点から実際のパスワードには*別のパス* ワードを設定してください。

日レセに他のユーザを追加したい場合も同様のコマンドで追加が可能です。

```
# gluseradd -file /etc/jma-receipt/passwd \
    -p ormaster123 ormaster
```

4 日レセのクライアント環境の構築

4.1 panda-client のインストール

日レセのクライアントに必要なパッケージをインストールします。

aptitude install -y panda-client kinput2-canna canna \
canna-utils canna-cannadic canna-canadamed devilspie \
ttf-orcafont

4.2 一般ユーザに戻る

以後の設定は日レセのクライアントを使用するユーザで行います。

exit logout \$

4.3 日本語入力の設定

日本語入力の設定を行います。標準の設定をホームディレクトリにコピーした上で編集します。

\$ cp /etc/canna/default.canna ~/.canna

\$ gedit ~/.canna

50 行目あたりの use-dictionary の設定を下記のように変更してください。

~ 略 ~
(use-dictionary
"gcanna"
"gcannaf"
"med"
"medinst"
"chimei"
"katakana"
"software"
"henkaku"
"oldchar"
"sfx"
; "medx"
; "iroha" ; ";" を先頭に追加してコメントアウト
"fuzokugo"
"hojomwd"
"hojoswd"
:bushu "bushu"
:user "user"
; :katakana "katakana"
)
~ 略 ~

辞書の動作確認のために cannacheck コマンドを実行し、下記のように辞書が登録され ている事を確認してください。コマンド中にあらわれる「|」の文字は Shift キーを押し ながら「¥」のキーを押して入力します。

\$ cannacheck -v nkf	- w
カスタマイズファイルとして	"/home/oruser/.canna" を用います。
ローマ字かな変換テーブルは	"/usr//share/canna/default.cbp" を用います。
部首辞書 "bushu"	を指定しています。
システム辞書 "hojoswd"	を指定しています。
システム辞書 "hojomwd"	を指定しています。
システム辞書 "fuzokugo"	を指定しています。
システム辞書 "sfx"	を指定しています。
システム辞書 "oldchar"	を指定しています。
システム辞書 "henkaku"	を指定しています。
システム辞書 "software"	を指定しています。
システム辞書 "katakana"	を指定しています。
システム辞書 "chimei"	を指定しています。
システム辞書 "medinst"	を指定しています。
システム辞書 "med"	を指定しています。
システム辞書 "gcannaf"	を指定しています。
システム辞書 "gcanna"	を指定しています。
サーバ "unix" に接続します。	
RKCの設定ファイルがありませ	たん

※「RKCの設定ファイルがありません」と言う表示が出ますが問題ありません。

4.3.1 頻度学習辞書の作成

変換結果を学習させるために頻度学習辞書を作成します。

\$ mkdic -fq \$(lsdic -i)

4.4 インプットメソッドの設定

im-switch コマンドで利用するインプットメソッドを設定します。一覧の中から kinput2-cannaを探して数字を入力してください。本ドキュメントでは3番を選択してい ます。

```
$ im-switch -c
 There are 8 candidates which provide
                                                        IΜ
                                                               for
/home/oruser/.xinput.d/ja_JP:
   Selection Alternative
                          default
      1
       2
               default-xim
       3
               kinput2-canna
       4
               none
               scim
       5
       6
               scim-bridge
       7
               scim-immodule
       8
               th-xim
 System wide default for ja_JP (or all_ALL) locale
   is marked with [+].
 Press enter to keep the current selection[*],
   or type selection number: 3
```

4.5 xmodmapの設定

テンキー側のReturnを使えるようにするために xmodmapの設定ファイルを作ります。

\$ gedit ~/.xmodmap
keycode 108=Return

4.6 devilspieの設定

glclient がパネルよりも前面に表示されるように devilspie を設定します。

\$ mkdir ~/.devilspie
\$ gedit ~/.devilspie/gnome-panel.ds

• gnome-panel.ds

(if
(and
<pre>(is (window_class) "Gnome-panel")</pre>
<pre>(not (is (application_name) "gnome-panel")))</pre>
(below)
)

4.7 自動起動の設定

ログイン時に devilspie が起動するように設定します。「システム」→「設定」→ 「セッション」の順で選択してセッション初期設定画面を開いてください。

所	システム "g" 🖂 🕐	
	💥 設定 🔸	📗 PalmOS のデバイス
		A Qt 4設定
	🕗 ヘルプとサポート	📓 SCIM入力メソッドの設定
		🚳 お気に入りのアプリ
		📑 ウィンドウ
	🕘 終了	<i>■ キーボード</i>
		·····································
		サウンド
		🧱 スクリーンセーバー
		三型 スクリーンセーバー
		と セッション
		泉 ネットワークのプロ+ン
		לי די

自動起動するプログラムのタブから「追加」をクリックします。

		セッション初期設定	×			
E	自動起動で	するプログラム 現在のセッション オプション				
	自動的に	起動するプログラムの追加:				
	有効	プログラム	- 卡追加(A)			
	1	Evolution Alarm Notifier Evolution Alarm Notifier	— 削除(<u>R</u>)			
	1	ボリュームの管理 リムーバブル・ドライバとメディアを管理します	編集(E)			
	1	視覚支援 お気に入りの視覚支援技術を起動します				
	1	電源の管理 電源管理のデーモンを起動します				
	ペルプ(日) ぼう(C)					

devilspieを追加します。

8	自動起動プログラムの追加 🗙
名前(<u>N</u>):	devilspie
コマンド(<u>M</u>):	devilspie 参照(<u>B</u>)
コメント(<u>E</u>):	

4.8 パネルの位置の変更

解像度が1024×768の場合、日レセクライアントを適切に表示するために下記のコマンドを入力し、パネルの位置を移動する必要があります。

```
$ gconftool -t string -s \
/apps/panel/toplevels/top_panel_screen0/orientation bottom
```

📢 アプリケーション 場所 システム		oruser 🚊 🕸	2月25日 (水) 16:59 Ŭ
	(M00)マスターメニュ	-	_ ×
01 医事業務]		
03 プログラム更新]		
		「日医標準レセプトソフト Version 4.3.0」	
		Copyright(C) 2002	社団法人日本医師会
		このソフトウェアは「日医オープンソース使用 されたものです。	許諾契約」の下に公開
選択番号		上記使用許諾契約をお読み頂き、必ず同意の上 上記使用許諾契約は、下の「情報」ボタンを押	ご利用ください。 すことで表示されます。

変更していない場合表示位置が下り日レセの画面が切れてしまいます。

パネルを下図のように下部に移動した場合は適切に全画面表示されます。

0	アプリケーショ	ョン 場所	システム	.	?					
•			(M00)マスタ・	-==×=	-				_ ×
01 医事業務	ş]								
	っム更新	J								
						「日医煙滩)。	わプトリフト VA	arsion 430	1	
							Cop	vright(C) 200	-)2 社団法人E	日本医師会
						このソフトウェ されたものです.	アは「日医オー: 。	プンソース使	用許諾契約」	の下に公開
選択番号	_					上記使用許諾契: 上記使用許諾契:	約をお読み頂き、 約は、下の「情報	. 必ず同意の 報」ボタンを	上ご利用くた 押すことでま	ざさい。 表示されます。
終了				環境設定						情報

4.9 再ログイン

設定を適用するためにログインしなおします。「システム」→「終了」を選択してくだ さい。



「ログアウト」をクリックしてログアウトしてください。



もう一度同じユーザで3.2 ログインと同じようにログインしてください。



Xmodmap ファイルの読み込みを確認する画面が表示されますので「読み込む」をクリックして読み込むようにします。以上でクライアント環境のセットアップは完了しました。

🗖 mod	Imap ファイルの読る	ታ እ
modma	ap ファイルを読み込み	ますか?
読み込んだファイル(<u>L</u>):		利用可能なファイル(⊻):
.xmodmap	 → 読み込む(L) ー 削除(<u>R</u>) 	.xmodmap
☑ 次回からこのメッセー:	ジを表示しない(<u>N</u>)	
		<u> </u>

5 動作確認

5.1 日レセ動作確認

ここまでの設定で日レセが正しく動いているかどうかを確認します。glclentを起動します。



画面が表われたら 3.13 ormaster パスワードの設定で設定したユーザ名(ormaster)とパ スワードを入力して接続します。ユーザ名の部分は oruser となっています。 ormaster に 変更してください。

glclient ランチャー _ ロ ×)					
glclie	int ランチャー				
サーバ カスタム	_				
基本 SSL 詳細					
ホスト(ポート)	localhost 8000				
アプリケーション	panda:orca00				
プロトコル	⊑ v1				
ユーザ名	ormaster				
パスワード	******				
ロパス	(ワードの保存				
	閉じる 設定				

次のように操作し、「印字テスト」をクリックしてください。

"01 医事業務"->"91 マスタ登録"->"101 システム管理マスタ"->"管理コード 1031:出力先プリンタ割り当て情報"

印字テストが表示されれば動作確認は完了です。



6 主従構成での運用の設定

6.1 日レセの主従構成での運用について

日レセではハードウェアの故障などに備えるため待機系コンピュータを用意しておく主 従構成での運用を推奨しています。主従構成は普段の運用を行う主サーバと待機系である 従サーバによって構成されます。

6.2 確認事項

2台のコンピュータに日レセ環境をセットアップしてください。マシンのセットアップ の際に 2.3 ホスト名の設定でわかりやすいように主従サーバに違う名前を付けてくださ い。本ドキュメンでは主サーバには master、従サーバには slave と言うホスト名を設定し たとし、以下の IP ネットワーク環境であると仮定しています。

• ゲートウェイの IP アドレス

o **192.168.1.1**

- サブネットマスク
 - o **255.255.255.0**
- DHCP サーバによりアドレスの割り当てが行なわれている

又主従サーバの IP アドレスは以下のように設定します。DHCP サーバのアドレスの割り 当て範囲が日レセの主従サーバのアドレスと重複しない設定である事を確認してください。 多くの環境の場合 DHCP サーバはルータが提供しますのでルータの設定画面から確認可能 です。

主サーバの IP アドレス

- 従サーバの IP アドレス
 - o **192.168.1.12**

o **192.168.1.11**

6.3 IP アドレスの固定

主従サーバの IP アドレスを固定します。「システム」→「システム管理」→「ネット ワーク」を選択してください。



開いたネットワークの設定ウィンドウの「ロックの解除」をクリックしてください。

5	ネットワークの設定	×
場所:		+
接続	全般 DNS ホスト	
•	 有線接続 IP-アドレス: dhcp 	<u>プロパティ(P</u>)
-	PPP 接続 このネットワーク・インタフェー…	
	? ヘルプ(<u>H</u>) 👘 ロックの解除(<u>U</u>)	☑ 閉じる(<u>C</u>)

ログインパスワードを入力して「認証」をクリックし、ロック解除します。

9	認証		
Ser.	System policy prevents modifying the configuration		
	あるアプリケーションが特権の必要なアクションを実行しよう としています。このアクションを実行するには、次に示すいず れかのユーザとしての認証が必要になります。		
	🕒 oruser,,, (oruser)		
	oruser のパスワード(<u>P</u>):		
▼詳細([<u>)</u>)		
アプリケー	・ション: (unknown)		
アク	クション: <u>org.freedesktop.systemtoolsbackends.set</u>		
	ペンダ:		
	(X)キャンセル(C) 認証(A)		

ロックが解除され、ボタンやリストの操作が可能になりますので有線接続を選択し、 「プロパティ」をクリックしてください。

5	ネットワークの設定	×
場所:		+
接続	全般 DNS ホスト	
•	● 有線接続 IP-アドレス: dhcp	<u> プロパティ(P</u>)
-	PPP 接続 このネットワーク・インタフェー…	
	? ヘルプ(<u>H</u>)	■ 閉じる(<u>C</u>)

設定の種類を <u>IP アドレスを指定する</u>に変更し、下記のように 6.2 確認事項の設定を行います。

<u>1</u>	eth0 のプロパティ 🗙
✓ この接続を有効にする(N)	
接続の設定	
設定の種類(<u>F</u>):	IP-アドレスを指定する ↓
IP-アドレス(<u>I</u>):	192.168.1.11
サブネット・マスク(<u>S</u>):	255.255.255.0
ゲートウェイ(<u>G</u>):	192.168.1.1
	(<u>©</u>) (<u>C</u>) (<u>C</u>)

従サーバにも同様の手順で設定を行います。

<u>1</u>	eth0 のプロパティ X
✓ この接続を有効にする(N)	
接続の設定	
設定の種類(<u>F</u>):	IP-アドレスを指定する 🔷
IP-アドレス(<u>I</u>):	192.168.1.12
サブネット・マスク(<u>S</u>):	255.255.255.0
ゲートウェイ(<u>G</u>):	192.168.1.1

6.4 従サーバの PostgreSQL の設定

PostgreSQL のユーザ orca にパスワードを設定し外部からパスワード認証による接続を 受けられるようにします。本ドキュメントではパスワードを orca123 として設定しますが セキュリティ上の観点から実際には*別のパスワード*を設定してください。

oruser@slave:~\$ sudo -u postgres psql template1
template1=# ALTER USER orca WITH PASSWORD 'orca123';
ALTER ROLE
template1=# \q
oruser@slave:~\$

他のコンピュータから接続できるように listen_address を*にします。

oruser@slave:~\$ sudo gedit \
/etc/postgresql/8.3/main/postgresql.conf

postgresql.conf

主サーバ(192.168.1.11)からpassword認証による接続を許可するようにpg_hba.confを 設定します。

oruser@slave:~\$ sudo gedit \
/etc/postgresql/8.3/main/pg_hba.conf

• pg_hba.conf

<pre># Database administrative login by UNIX sockets</pre>				
local	all	postgres	ident sam	neuser
# TYPE	DATABASE	USER	CIDR-ADDRESS	METHOD
host	all	orca	192.168.1.11/32	password #追加
# "local" is for Unix domain socket connections only				
local	all	all	ider	nt sameuser
<pre># IPv4 local connections:</pre>				
host	all	all	127.0.0.1/32	md5

設定を反映させるために PostgreSQL を再起動します。

oruser@slave:~\$ sudo /etc/init.d/postgresql-8.3 restart

6.4.1 従サーバの確認

主サーバから従サーバへの接続を試します。*orca=*〉という風に psql のコマンドライン が表示されれば接続成功です。

oruser@master:~\$ sudo -u orca psql -h 192.168.1.12 -W orca Password: <u>orca123</u> orca=> \q oruser@master:~\$

6.4.2 主サーバの日レセの設定

/etc/jma-receipt/dbgroup.incの<u>log</u>セクションを従サーバで設定した内容に書き換え ます。

```
db_group "log" {
    priority 100;
    type "PostgreSQL";
    port "192.168.1.12";
    name "orca";
    user "orca";
    password "orca123";
    file "/var/lib/jma-receipt/dbredirector/orca.log";
    redirect_port "localhost";
};
```

dbredirector を起動するために dpkg-reconfigure を行います。この設定の中で dbredirector を有効にしてください。

oruser@master:~\$ sudo dpkg-reconfigure jma-receipt

その後日レセを再起動します。

oruser@master:~\$ sudo /etc/init.d/jma-receipt restart

6.4.3 二台運用の確認

従サーバ側で次のコマンドを実行し、主サーバからの接続があることを確認してくださ い。

oruser@slave:~\$ ps ax | grep pos

次のように表示されて、192.168.1.11からの接続がある事を確認してください。

23101 ?	S	0:00 /usr/lib/postgresql/bin/postmaster -D/dbdata/data
23104 ?	S	0:01 postgres: stats buffer process
23106 ?	S	0:02 postgres: stats collector process
<u>23734 ?</u>	5	<i>0:01 postgres: orca orca 192.168.1.11 idle</i>

6.5 主従データベースの同期の取り方

次のコマンドを主サーバーで入力しデータベースの同期を取ってください。

```
oruser@master:~$ sudo /etc/init.d/jma-receipt stop
oruser@master:~$ sudo -u orca pg_dump -c -0 orca | \
sudo -u orca psql -h 192.168.1.12 -W orca
Password: orca123
DROP INDEX
DROP INDEX
… 略 …
CREATE INDEX
WARNING: no privileges could be revoked for "public"
REVOKE
WARNING: no privileges could be revoked for "public"
REVOKE
WARNING: no privileges were granted for "public"
GRANT
WARNING: no privileges were granted for "public"
GRANT
oruser@master:~$ sudo /etc/init.d/jma-receipt start
```

※コマンドの出力の最後の方で(WARNING: no privileges could be revoked for "public")のような警告が表示されますが、この警告は問題ありませんので無視してください。

7 印刷の設定

7.1 確認事項

本ドキュメントでは利用するプリンタ用のプリンタドライバ(ppd ファイル等)をすで に入手しており、lpr プロトコルでネットワーク経由の印刷が可能なプリンタであるとし ます。

7.2 プリンタの追加

プリンタの設定をするためにように設定ツールと追加ドライバをインストールします。

\$ sudo aptitude install -y system-config-printer-gnome \
foomatic-db-hpijs foomatic-db-gutenprint ttf-orcafont

印刷キャンセルが出来るようにあらかじめ Ipadmin グループに orca ユーザを登録して おきます。

\$ sudo adduser orca lpadmin

「システム」→「システム管理」→「印刷」を選択しプリンタの設定を開きます。



プリンタの設定のウィンドウの左上の「新規プリンタ」をクリックします。



プリンタの検索が行われます。



プリンタの一覧の中から「LPD/LPR Host or Printer」を選択し、キューは Ip1 としプ リンタの IP アドレスを入力します。本ドキュメントではプリンタの IP アドレスを 192.168.1.111 としています。

	新規プリンタ	_ - ×
接続の選択	LPD ネットワークプリンタの場所	
デバイス	ホスト: 192,168,1,111	
FUJI XEROX DocuPrint 201PS 192		
RICOH IPSIO NX730N 192.168.1.	+: [p1	-
RICOH IPSIO NX85S 192.168.1.2		
RICOH IPSIO SP C210SF 192.168		
RICOH imagio MP C3500 192.168		
LPT #1		
Serial Port #1		
Serial Port #2		
AppSocket/HP JetDirect		
Internet Printing Protocol (ipp)		
LPD/LPR Host or Printer		
Windows Printer via SAMBA	•	
	(<u> </u>	➡ 進む(<u>E</u>)

「PPDファイルを提供する」を選択します。

■ 新規プリンタ	
○ データベースからプリンタドライバの選択	
foomatic プリンタのデータベースには、さまざまな製造元が提供する PostScript P Description (PPD) ファイルが含まれ、また多数のプリンタ(PostScript以外)用 F ルを生成することもできます。 ただし、一般的には製造元が提供する PPD ファイル 方がプリンタの特殊機能をより活用できます。	rinter ᠈PD ファイ レを使用した
製造元	
Generic	
Alps	
Anitech	
	•
 PPD ファイルを提供する PostScript Printer Description (PPD) ファイルはプリンタに同梱されているドライル 入っていることがよくあります。 PostScript プリンタの場合、 Windows[®] ドライル なっていることがよくあります。 	バディスクに Nの一部と
(なし) 🖹	
← 戻る(B)	進む(<u>E</u>)

ppd ファイルを選択して先に進みます。

	ファイルの選択	×
📝 📢 🗟 oruser 🔄	デスクトップ	
場所(<u>P</u>)	名前	▼ 最終変更日
🔍 検索	≧ テンプレート	昨日の 13:25
🚱 最近開いたファイル	□ デスクトップ	今日の 13:38
🗟 oruser	≌ ドキュメント	昨日の 13:25
🔟 デスクトップ	iii ビデオ	昨日の 13:25
🔜 ファイル・システム	≧ 音楽	昨日の 13:25
	■ 画像	昨日の 13:25
	😂 公開	昨日の 13:25
	SAMPLE-PRINTER.ppd.gz	今日の 13:52
削除(<u>R</u>)	PostScript プリンタ定義(*.ppd, *.PPD, *.ppd.gz,	*.PPD.gz, *.PPD.GZ)
	(2)キャンセル	(<u>c</u>)

プリンタによってはオプションを選択する画面が表れます。

	新規プリンタ	
インストールされたオプ	ション	
このドライバはプリンタに・	インストールされる追加のハードウェアをサポートします。	
Available Trays:	1 (Standard)	
C Durley	I	
Memory Configuration:	256 MB RAM 🛟	
	(↓ ↓ 戻る(<u>B</u>) (2) キャンセル(<u>C</u>) →	進む(<u>E</u>)

プリンタ名を<u>/p1</u>としてプリンタを登録します。

■ 新規プリンタ -	
プリンタ名	
"/"、 "#"、 空白以外なら印刷できる文字はすべて含めることができます	
名前はローカルマシンで一意でなくてはいけません!	
lp1	
説明 (オプション)	
"HP LaserJet with Duplexer" などのようにわかりやすい説明	
場所 (オプション)	
"研究室1" などのようにわかりやすい場所	
ubuntu	
↓ 戻る(B) ↓ ジャンセル(C) ※ 適用(<u>A</u>)

登録後左のメニューより「サーバの設定」を選択して「ユーザによるジョブのキャンセルを許可」にチェックを入れて適用します。



7.3 OCR フォントの設定

PostScript プリンタの場合に必要な設定です。CupsFilter の項目の foomatic-ripを foomatic-jma に書き換えてください。

gedit /etc/cups/ppd/lp1.ppd

lp1.ppd

*cupsVersion: 1.0
*cupsManualCopies: True
*cupsModelNumber: 2

*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 foomatic-jma"

7.4 MaxJobsの設定

cupsd.confの最後の行に MaxJobs 0を追記してください。

```
# gedit /etc/cups/cupsd.conf
```

※この設定を行わないと大量の印刷ジョブを発行した(レセプト印刷など)際に印刷漏れ が生じる恐れがあります。

cupsd.conf

MaxJobs 0

7.5 cupsの再起動

設定を有効にするために cups を再起動します。

/etc/init.d/cupsys restart

7.6 印字テスト

5.1 日レセ動作確認と同じ操作を行い、プリンタ名から <u>1p1</u>を選びテスト印刷を実行し正常に印刷されれば動作確認は完了です。

8 運用上必要な可能性のある設定

この章の設定は環境によって必要であるかどうかが異なりますので、各ユーザ様 の判断で設定を行ってください。

8.1 Firefox Web ブラウザのインストール

オンライン請求等で使用される場合はインストールしてください。

\$ sudo aptitude install firefox mozilla-firefox-locale-ja-jp

9 日レセ関連パッケージ

9.1 レセプト電算対応

レセプト電算等に対応させるためには次のパッケージをインストールします。日レセか ら送られたデータをローカルに保存するために必要です。

\$ sudo aptitude install jma-receipt-fdd

9.2 レセプト電算ビューワ

操作方法等については jma-receview のマニュアルを参照してください。

\$ sudo aptitude install jma-receview jma-receview-server

9.3 dbs 連携

給管鳥や医見書などとの連携を行う場合に必要です。

\$ sudo aptitude install jma-receipt-dbs

9.4 認証局構築ツール

glserverとglclient間の通信の暗号化に必要です。操作方法や設定方法については jma-certtoolのマニュアルを参照してください。

\$ sudo aptitude install jma-certtool

9.5 GTK テーマの設定

glclientのテーマを設定するためには、GTK1.2のテーマを使用する必要があります。 またラジオボタンやチェックボックスの見た目を変更するために次のパッケージが必要で す。

\$ sudo aptitude install gtk-engines-pixmap

※設定ファイル~/.gtkrc等を手動で設定する必要があります。

10 更新履歴

10.1 2009/10/19 第2版

- Firefox のインストールの項目の追加
- 文字スタイル「入力コマンド」のフォントをNimbus Mono LからLuxi Mono へ変更
- Devilspie の設定ファイルの不備を修正
- 4.1,7.2のインストール作業にttf-orcafontを追加

10.2 2009/10/28 第3版

- ・ 誤字脱字の修正
- ・ コマンド表記のゆらぎの修正
- ・ gtkrc についての注意事項の追加
- ・ 2.6の追加
- Ubuntu 8.04.3 対応

10.3 2009/11/02 第4版

・ 1.1のハイパーリンクのリンク先の修正

10.4 2009/12/02 第5版

- ・ devilspieの設定のうちglclient.dsの削除
- ・ かんなの動作チェック方法を変更

10.5 2010/03/23 第6版

- 6.4 従サーバの PostgreSQL の認証設定を変更
- ・ 6.5 主従データベースの同期の取り方に psql コマンド実行時の警告を追記
- 7.4 cupsのMaxJobsの設定を追加

10.6 2011/03/11 第7版

- この【日レセ Ver.4.5 用】と【日レセ Ve.4.6 用】を作成しました。
- apt-lineの追加方法を変更しました。
- Ipadmin グループに登録を追加